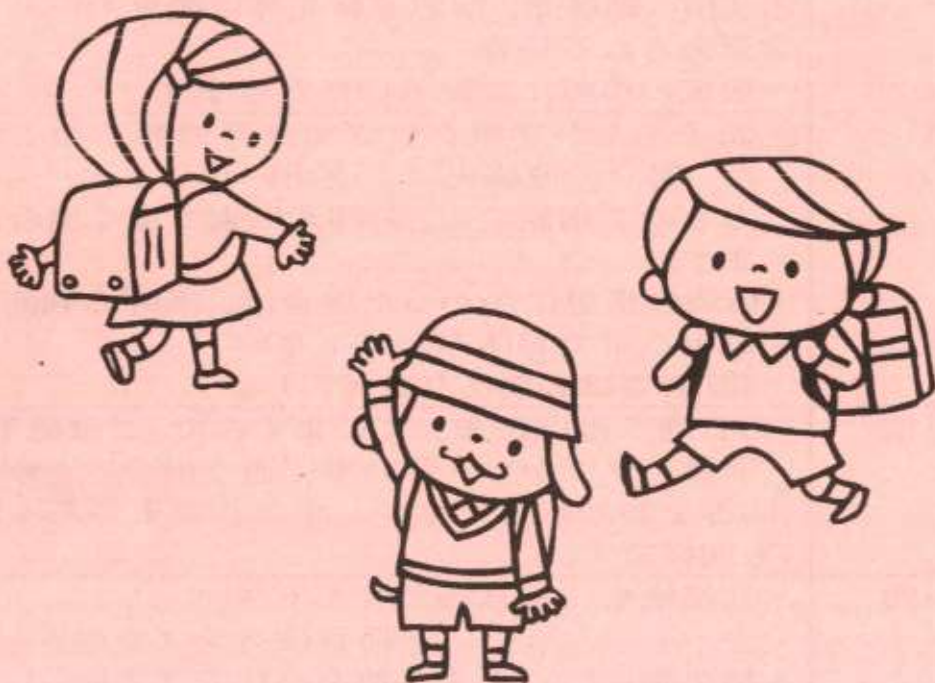


2009年度さくら橋コミュニティセンター

学童クラブ の しおり



学童クラブ さくらんぼ

〒131-0033 墨田区向島2-3-8

Tel 03-3623-2181

設置:墨田区

指定管理者:社会福祉法人 雲柱社



HP: <http://fukusi.unchusha.com/sakurabashi/>

1. 育成時間	<ul style="list-style-type: none"> ・下校時より午後5時まで（延長時間 6時まで） ・春、夏、冬休み、開校記念日等の学校休業日は午前8時半からとなります。
2. 休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始 （12月29日～1月3日）
3. 費用	月額4,500円（減額制度があります）
4. 連絡	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席、早退等は、必ず事前に連絡帳や電話にて、保護者が直接お知らせ下さい。 ・学校を欠席された場合も、学童クラブまでご連絡を下さい。
5. 諸届け	下記の場合は緊急にお知らせ下さい。 ①住所、勤務先、緊急連絡先等に変更があった場合 ②退会される場合 →所定の用紙にご記入いただきます。
6. 病気について	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんが学童クラブで具合が悪くなったときは、緊急の連絡先にご連絡いたします。保護者の方とのご相談の上、お迎えに来て頂く場合があります。 ・伝染性疾患にかかった場合は、医師の判断、了解が出るまでお休みして下さい（証明書は必要ありません）。
7. 登下校	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日通う道は決まっていますので、ご確認下さい。 ・学童クラブから「習い事に通う場合は、曜日・時間等をお知らせ下さい。また、変更があった場合も同様です。
8. 持ち物	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳を、毎日持たせて下さい。 （一冊目はクラブで用意します） ・持ち物には、必ず名前をつけて下さい。 ・学校給食の無い日は、お弁当が必要です。 ・お金、おもちゃ（カード類、ゲーム機類など）は、持たせないで下さい。 <p>☆入会時にご用意いただくもの・・・☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着替え一式（上下着衣、下着、靴下）置き靴 ・防災頭巾、ビニール袋数枚 ・*必ず記名をお願いします。 ・共有のもの（名前はいりません） →ティッシュ1箱、石鹸、タオル ハンドタオル（小）

学童クラブでの生活

下校時	登館 連絡帳を出します。 宿題や自由学習をします。 *春夏冬休み、学校休業日は、1日保育のため、午前9時から10時までは学習時間。
	自由遊び
3:00	おやつ 主に1年生、2・3年生毎に食べます。 各自で食器とゴミを片付けます。 ※生まれた日にあわせて一人一人の誕生日をお祝いします。 ※縦割り班のグループ活動を随時行います。 自由遊び 館内の各室を利用したり、各プログラムに参加したりします。（安全にも配慮し、隅田公園に遊びに行くこともあります。）
4:45	帰りの会 1日の中で、必ず集まらないといけない時間です。連絡帳（と配布物）をランドセルに入れます。職員からの伝達事項のほか、みんなでゲームやレクリエーション、グループ活動なども行います。
5:00	順次帰宅
6:00	延長を利用するお子さんは、帰りの時間まで館内で過ごします。

班活動について

当学童クラブでは児童館併設の利点を活かして、できるだけ自由で開放的な運営を心がけています。反面、学童クラブとしての独自の関係づくりや生活体験の機会が比較的少なくなっています。そのため、班活動を行い子どもたちの関係づくりや、生活体験の機会を作ります。

班活動には、おやつや帰りの会でのクイズ、班でのレクリエーションなどがあります。

その他の生活体験として、おやつづくりやお店屋さん、買い物体験等があります。

行事について

おでかけやデイキャンプ、学童クラブ全員でのレクリエーションや季節行事、また、父母会主催の昼食会（年3回程度）やキャンプ（7月）など、普段の活動を補う行事を予定しています。

保護者会の実施

4月、7月、12月、3月に行い、子どもたちの様子の報告、長期休みの過ごし方、懇談の時を持ちます。

保護者のみなさまへ

「ただいま～！」子どもたちの元気な声が、センター内に響きます。学校を終えた子どもたちが、次々と帰ってきます。

宿題をしたり、おやつ準備を手伝ったり、子どもたちが思い思いの場所で遊び始めます。

学童室では、ぬりえ、折り紙、ブロック、ゲーム、ごっこ遊び・・・。

集会室・ホールでは、なわとび、コマ、かくれんぼ、木工、マット・・・。

図書室では、本を読んだり、宿題をしたりなど、のんびりと過ごしています。本の貸し出しもしています。

体育室では、ドッジボール、タスケ、一輪車など、体を目いっぱい動かす姿が目立ちます。

館内では、一人一人子どもたちの、自由な放課後の時間が流れています。

学童クラブには、子どもたちの中から失われつつある「遊びの原風景」があります。また、仕事をされている保護者の方が安心して働けるよう、留守家庭児童の安全対策という大切な役割もあります。

しかし、それだけではなく、学童クラブという異年齢集団の生活の中で、たくさんの事を学び大きく成長しています。

子どもたちをとりまく人間関係が複雑さを増しつつある中、様々な生活背景を持つ子どもたちの現実を、しっかりと受け止めながら、ひとりひとりが自分の居場所を学童クラブの中に作っていけるよう手助けしていきたいと考えています。

私たちは、子どもたちのかかわりの中で、ある時は導き、ある時には一緒に、ある時は見守る・・・。そのような子どもたちとの交流が持てる学童クラブでありたいと願って運営を行っています。